



## 高齢者介護予防講座のお知らせ



- 今年も寒い季節がやってきました。この時期はどうしても体を動かす機会が減ってきます。矢沢地域振興会（高齢者対策事業部会）では、2年ぶりに下記日程で高齢者介護予防講座を開催します。体を動かし心地よい汗を流しましょう。みなさんの参加をお待ちしております。

### 令和3年度 高齢者介護予防講座 日程

月 日	メニュー	講師名
1月14日（金）	ラージャヨーガ	熊谷 りつ子
1月17日（月）	健康気功太極拳	佐々木 紀子
1月26日（水）	ジャズ体操による健康づくり	佐々木 八重子
1月28日（金）	大笑い健康マジック	二本木 光史
2月3日（木）	高齢者向けふれあいゲーム・頭の体操	立花 良子
2月9日（水）	3B体操を中心とした健康体操	高橋 良子

- ◎会 場 矢沢振興センター 大広間
- ◎時 間 10時～11時30分
- ◎対象者 4回以上参加可能な方に限ります。
- ◎申 込 12月24日（金）までに矢沢振興センター（☎23-2171）へ申込願います。（なお、募集は先着25名といたします。）

### ❖ 胡四王史談会・歴史講座 高橋信雄博物館館長 語る「胡四王神社と胡四王山遺跡」

胡四王史談会（押切悟会長）は、11月24日に今年度の総会を開催。活動報告、会計報告を承認、役員改選では全員留任となりました。また総会に先立ち歴史講座を開催。講座には、胡四王山遺跡や歴史に興味のある地域の方や胡四王史談会会員26名が聴講し、熱心に聞き入りました。高橋信雄先生は胡四王山遺跡を鳥海柵（とのみのさく）と月山神社、徳田神社の関係から、昭和32年の胡四王山遺跡発掘以来の研究成果を交え一時間にお話しされました。講演後には6名の方が質問され、聴講者の皆さんの歴史に対する造詣の深さにも感心させられました。



講演される  
高橋信雄館長



- ご案内「盛岡市内記念館めぐり」  
胡四王史談会では、矢沢地域振興会と共催で盛岡市内の記念館巡りの計画をしています。参加をご希望される方はお電話で矢沢振興センターへお申込下さい。  
なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。
- 日 程：令和3年12月15日（水）
- 出 発：矢沢振興センター08時30分（08時15分までに集合）
- 参加費：2,000円（昼食・入館料）
- 行 程：タイムスケジュール（予定）  
08時30分：矢沢振興センター出発  
09時30分：岩手県立博物館  
11時00分：もりおか歴史文化館  
12時30分：カニ政宗（昼食）  
14時00分：原敬記念館  
16時30分：矢沢振興センター到着
- 申 込：12月10日（金）まで  
矢沢振興センター（☎23-2171）



## ● 矢沢小学校でキャップハンディ体験実施

11月12日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部では、矢沢小学校4年生65名を対象に、小学校体育館で視覚障害者体験、車いす体験、高齢者疑似体験の補助などキャップハンディ体験を実施しました。参加した4年生の皆さんは運営委員の皆さんが見守る中で、真剣な眼差しで取り組んでいました。

### キャップハンディとは

障害をもたない人が「障害のある状態」を疑似体験し、障害を持つ人の身体状況や気持ちの一端を理解する「気づき」を目的とした取り組みです。



### 移動図書館車巡回日程(ぎんが号)

12/8 (水)	団地会館	13:30~13:50
12/15 (水)	高木観音	09:20~09:50
12/15 (水)	振興センター	10:05~10:35
12/15 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

### 【事務局員のつぶやき】(「冬雲は鉛の如し」)

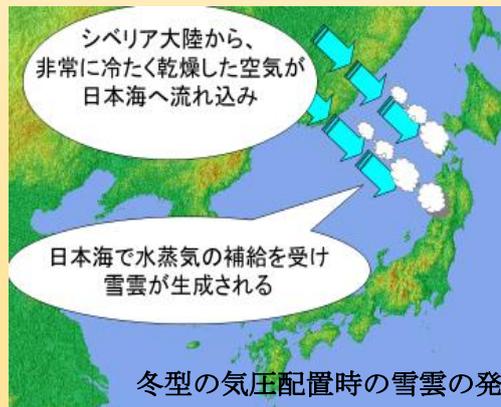
雑誌「ホトトギス」(明治30年創刊当時は「ほととぎす」)は正岡子規の雅号「子規(ほととぎす)」から名付けられたと言われています。その「ホトトギス」に「雲」の題名で正岡子規は「春雲は綿の如く、夏雲は岩の如く、秋雲は砂の如く、冬雲は鉛の如し」と詠んだ俳句を掲載しています。この句は各季節の雲の発生状況を見事なまでに詠まれたものと感心してしまいます。

この俳句を私なりに解釈すると、「春雲は綿の如く」は、春によく現れる穏やかな日に綿のような晴れ積雲(綿雲)を詠み、「夏雲は岩の如く」は、夕立に見られるような正に岩のように発達した入道雲(積乱雲)を詠んだものと思われる。「秋雲は砂の如く」は、女心と秋の空(もともとは男心と…?)と言われるように、女心と同じく秋の空も移ろいやすい? 秋の気圧配置は移動パターンが比較的多く天気の変り変わりが早く、それに伴って様々な雲が形を変え移動も速く砂のようだと比喻しているものと思われる。「冬雲は鉛の如し」は、正に冬の雪雲を表しているように思われます。

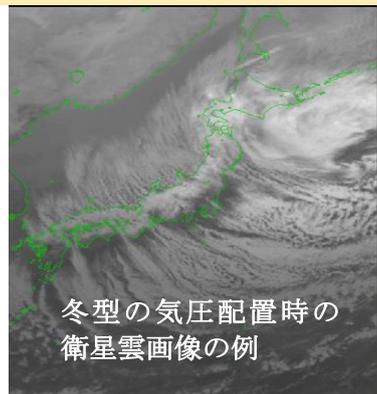
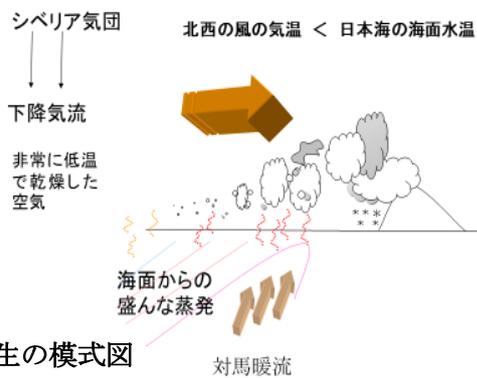
冬はシベリア大陸から冷たく乾いた北西の季節風となって、相対的に暖かい日本海上空を吹き抜けます。この上下の温度差によって大気の状態が不安定化し、海面から水蒸気の補給を受けて雲が発生します。気象衛星の雲画像を見ると日本海が筋状の雲で覆われていることが分かります。この筋状雲の状況から上空の寒気の規模を想定することもできます。日本海から吹き付けた北西風は脊梁山脈にぶつかり上昇流が強まり雪雲が更に発達、日本海側や太平洋側の奥羽山系沿いを中心に大雪をもたらします。

私は2年ほど奥会津の只見(着任日:昭和45年3月31日積雪336cm)に勤務しましたが、冬は正に鉛のような雲に覆われる毎日でした。たまに晴れる時があります。それは日本海に低気圧が発生した時点で、冬型の気圧配置が崩れたことを意味し、その低気圧が接近するまでのつかの間の太陽の恵みでした。

ちなみに雲は対流圏内で発生・発達します。夏の圏界面は11,000m以上で積乱雲もこれくらいの高度に発達しますが、冬は上昇流が弱く圏界面も夏に比べ低くなります。



冬型の気圧配置時の雪雲の発生モード図



冬型の気圧配置時の衛星雲画像の例

## 東十二丁目地区地域福祉懇談会が行われる!

花巻市社会福祉協議会矢沢支部では、今年度矢沢地区の4行政区で地域福祉懇談会の開催を計画しています。11月18日、東十二丁目地区では、島区民会の役員13名と社協の運営委員4名が出席し高橋秀造行政区長の司会で行われました。冒頭福盛田弘支部長の懇談会開催趣旨の説明があり、社協から昨年実施されたアンケート結果を踏まえた取組の説明。市の担当者から①「地域での支え合いの仕組み作りについて」長寿福祉課、②「空き家対策について」建築住宅課からそれぞれ話題提供があり、その後質疑応答と約2時間の懇談会となりました。高橋区長の発言のとおり東十二丁目地区も高齢化に伴う空き家の増加、農業後継者難、交通弱者等の課題が顕在化しており、住民の問題意識が鮮明となっています。

